

テーマ：『 地域の自然・環境・産業について知り、自然観察やものづくりを体験する授業の実践』

北九州市立 若松中学校

Tel. 093-751-2030 担当 音部 智子

者：



■実践内容：

若松中学校周辺の環境を知るために、ものづくり科学研究部を中心として実際に動植物等の自然観察や水質、大気などの環境調査をおこないました。その結果をまとめて文化祭などで発表したり、生物分野の理科などの授業で活用しました。また、地域の産業やものづくりを知る体験としては、春休みに希望者を募り、「日産九州工場」や「安川電機」の工場見学をし、話を聞いてきました。そして、ものづくりの体験としては、理科の選択授業などでロボット制作を行いました。

■実践成果：

これらの活動を通し、生徒たちが今まではあまり関心を示さなかった、地域の自然や環境問題や産業などについて興味・関心を持つきっかけとなりました。また、ものづくり体験のロボット制作では、ものを作る楽しさを体験することができ、生徒たちが進んで作業に取り組む姿が見られました。また、発表会などでは自分たちで調べ、まとめた内容について自信を持って発表をする姿も見られました。

■実践ポイント：

体験学習を重視し、実際に生徒が中心となって行う活動を計画、実施しました。体験することにより、“地域の自然・環境・産業”に対する知識を深め、より興味・関心を持たせるようにしました。